

大磯を元気に



大磯町長 吉好正則

あけまして
おめでとうございます

平成二十年の希望に満ちた幕開けを皆様とともに、迎えられますことを衷心から感謝申し上げます。

昨年は、台風九号による砂浜の大量な流出、西湘バイパス崩落という夢想不到にしまった大きな出来事がありました。

また、三位一体改革による税源移譲など、地方分権推進のうねりもやってまいりました。

今年も、そのうねりがより一層大きく打ち寄せてくることが予想されます。町としましては、「全力投球で大磯を元気に!」のスローガンのもと、「簡素で活力あるまちづくり」をさらに進めていく必要があります。

昨年、プレス発表で話題を呼んだ「2008湘南国際マラソン」が、三月に今年も、大磯をスタート・ゴールとして実施されることになったことは、町としても大いに歓迎するところです。

さて、今年も引き続き公共下水道事業の促進、生活道路の整備など、西部地区の生活基盤整備を進めていくとともに、当面の課題であります「コミュニティバス」の運行(富士見地区の生活交通対策)、「平塚市のごみ処理広域化の推進」「大磯駅バリアフリー化の

実現」「指定管理者制度の促進」「防災行政無線の拡充整備」「国府中学校校舎耐震改修事業」「月京幼稚園整備事業」「月京地区地域会館建設事業の推進」「旧吉田茂邸などの歴史的建造物の保全と活用」「大磯港みなとまちづくりの推進」などに取り組んでまいります。

重点施策として「地産・地消の循環型農業、漁業システムの構築」「万台こゆるぎの森の保全と活用」を推し進めるとともに、定数適正化計画による定員削減に伴う少数精鋭の職員体制を構築するため、機構改革の実施に傾注してまいります。

「大磯を元気に」するために、厳しいご意見も真摯に受け止め、民の力も最大限にお借りしながら、工夫を重ねてまいります。厳しい経済情勢が続く中、大磯町が活気づいてきたとは言いがたい状況が続いているというのが正直なところです。今後もねばり強く目標に向かって全力投球で行動し、大磯を元気にしてまいります。

「簡素で活力ある町政」をめざして、一歩踏み込んだ行財政改革を推し進め、夢がいつしか正夢となるようがんばり続けたいという思いを更に強くし、新年を迎えております。

最後になりますが、この一年が皆様にとりまして、幸多い充実した年になりますようお願い申し上げます。